



議員 埼
京線運行
時間の延
長、通勤
快速の夜

間の快速化に市長みずからJR大宮支社に要請に出向いていただいている。その際のJR側の回答は、職員の労働条件などを盾に後ろ向きの内容が多く、不快に思う。もっと利用者側に立つべきだ。運

神谷 雄三 議員

JRの回答は内向き。利用者側に立っていない

「利便性向上に粘り強く要望」

埼京線充実

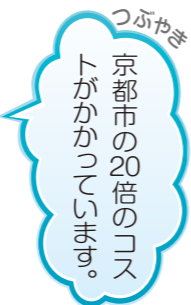
行時間を延ばすと車両保守の時間が確保されないと言いが、車両基地には340両あり、34編成できる。回答に説得力がない。
市民生活部長 これまでの粘り強い要望で、朝8時台に各駅が一本とまるようになった。JRの回答はいずれも難しいとのことだが、利用者の利便性向上のため、今後も粘り強く要望していく。

議員 ①戸田公園駅交番前トイレは古くて狭い。戸田の顔との認識で改修すべきときである②北戸田駅西口の横断歩道は片側が書店入口となる。利用者の動線に沿った歩道に改めるべきではないか。
市民生活部長 ①トイレは25年が経過し、老朽化が進み、改修が必要と考える。本市の玄

行政効率化

放置自転車対策事業の収支改善を

「早急には難しいが検討する」



つぶやき
京都市の20倍のコストがかかっています。



議員 自
転車撤去
コストは、
戸田市の
1台当た

り2万円強に対して例えば京都市では1千円弱。20倍以上の開きがある。委託料金の抑制など、収支改善に取り組んでどうか。

市民生活部長 早急なコスト削減は難しいが、検討していく。

非常時の給水について

議員 断水への備えを

酒井 郁郎 議員

酒井 郁郎 議員

強化する必要がある。①

各家庭における備蓄は、正しい方法で実施すれば、ほとんど手間もコストもかからないすぐれた方法である。広報による呼びかけを強化してはどうか②マンションや公共施設などの貯水槽には、1カ所当たり数十トンの水が常時貯留しているが、断水時には取り出せないため利用はできない。そこで、貯水槽にあらかじめ給水栓を設置しておくことにより、断水時でも利用できるようにする方法がある。非常に簡便・安価な方法であり、しかも大量の水を確保できる。

上下水道部長 ①備蓄の実態調査を行い、ま



北戸田駅西口の横断歩道

関口との点も考慮し検討していく。

都市整備部長 ②区画整理事業が進み、交差点付近に更地が確保された。安全な誘導が可能か、工夫していく。

その他の質問

Q 防災計画に『高齢者・障害者世帯に家具転倒防止器具の給付及び設置を推進する』とあるが、担当は、この予算を財政担当に要求した実績はあるか。
A 実績はない。

その他の質問

Q SNSを広聴や災害情報の発信手段として整備してはどうか。
A 重要な手段とらえている。今後の課題として研究したい。

※①SNS：フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ等、ウェブサイトで利用者がコミュニケーションを広げていくサービス。
※②広聴：市民から広く意見を聴くこと。



市役所の貯水槽

一般質問

ネーミング

駅前中心に道路の愛称をつけては「ふさわしい愛称名の提案に対応する」



議員 都
市を構成
する要素
として、
道路は重

要である。都会人は、道路の上に費やす時間が、いかに多いかを思えば、都会生活と道路とは切り離すことができない。
駅前を中心に道路の愛称をつけてはどうか。

馬場栄一郎 議員

への来訪者に対しても道案内的な利便性の向上に資する提案であるので、具体の路線で、ふさわしい愛称名の提案にこたえる対応をしたい。



オリンピック通り

市民後見人の養成を

議員 日常生活で何ら

かの支援が必要な認知症高齢者の推計は、平成24年段階で305万人に達する。深刻な権利侵害事例の増加は、成年後見制度などの権利擁護施策の積極的な活用が求められ、判断能力が不十分な人の権利擁護の推進は、社会的な課題である。
市として、市民後見人の養成を行うべきではないか。

福祉部長 成年後見人の親族以外の者への選任は弁護士や司法書士等の専門職後見人であるが、抱える事実が多く、複雑多岐にわたる。
専門職後見人の負担軽減のためにも、市民後見人の必要性は十分認識している。
国の補助事業「市民後見推進事業」の次年度の活用に向けて検討していく。

白河市・美里町との議員交流で絆を深める

議員互助会では、7月2日、3日の2日間、友好都市である福島県白河市との議員交流会を戸田市で、また、7月27日には、姉妹都市である埼玉県美里町との交流会を美里町で、それぞれ開催しました。

白河市との意見交換会では、白河市議会から「福島第一原子力発電所の事故による放射能被曝に対する対策」について発表があり、戸田市議会からは「4常任委員会の平成23年の年間活動の成果」、及び「議会改革特別委員会、議会広報委員会」の活動について発表をし、活発な質疑応答

を交わしました。

翌日には、戸田市立学校給食センターとリサイクルフラワーセンターを視察し、学校給食センターでは、野菜の仕入れ方や残飯量などについて熱心な質問がありました。

また、美里町では、境内の中で四国八十八カ所霊場巡りができる真東寺、国指定重要無形民俗文化財である猪俣百八燈塚、旧石器時代からの考古資料が展示してある遺跡の森館を視察しました。いずれも、古い伝統・歴史を大切に保存していることに感銘を受けました。
それぞれの意見交換会では、市町の現状、課題を熱心に語り合い、今後につながる、心温まる、大変有意義な交流会となりました。



キムチづくり体験教室(美里町)



白河市の議員と一緒に